

登録コード	T2C07300	開講年度	2026				
授業科目	情報システム実験（20T以降）					担当教員	佐藤 真平
英文授業名	Computer Systems Lab 1					副担当	岡崎 裕之・富田 孝幸
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限 木曜・5時限	対象学生	電子情報システム工学科2年生
講義室	工3-302教室 工5-404教室 工5-208教室 工5-304プロジェクト実習室 工5-404プロジェクト実習室2			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ						
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。				情報システム分野に関する演習を通じ、専門的な知識を習得する		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。				情報システム分野に関する演習を通じ、実験データの収集・分析、それらについての報告書作成技術を習得する		
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				情報システム分野に関する演習を通じ、ハードウェア活用やプログラミングによる課題解決手法を習得する		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本演習は概ね以下の電子情報システム工学科（情報システムプログラム）における演習および実験報告などを通じて、情報システム分野における『基礎的な実験・開発・考察の技術』や『報告技術』を習得することを目的とする。電子情報工学分野における信号計測、回路設計、プログラム開発などを行う。実験課題はハードウェア分野、ソフトウェア分野、もしくはその両方にまたがる分野の5種の演習を行う。うち2種の演習は通信システム分野に関する演習となっており、隣接プログラムの知見を得る。詳細は授業計画を参照。						
(5)授業計画	以下の計画に沿って行う。 第1回：ガイダンス 第2～9回：情報システム演習（4テーマ×2週） テーマ1：暗号プロトコル設計開発 テーマ2：FPGAを用いたハードウェア開発 テーマ3：デジタル信号処理 テーマ4：インターネットプロトコルの基礎 第10回：数理DS演習ガイダンス 第11～14回：数理DS演習（4週） 第15回：プレゼンテーション演習、授業アンケート実施						
(6)成績評価の方法	受講生は毎回の実験に参加し、報告書を提出することが義務付けられる。 成績は各テーマの報告書の内容と毎回の演習への取り組む姿勢をもとに採点する。 採点はテーマ毎に行われ、6テーマの平均評価が60点未満の場合、D判定となり、単位は認められない。 原則として欠席や報告書の未提出があった場合はD判定となり、単位は認められない。						
(7)成績評価の基準	本科目では「情報システム分野における『基礎的な実験・開発・考察の技術』や『報告技術』を習得する。」といった目標達成を下記の項目にて測る。 ・各テーマの報告書の内容（テーマに対する理解度および報告書の作成能力） ・各テーマにおける積極的な参加姿勢 ・各テーマの課題（予習復習）の達成状況						
(8)事前事後学習の内容	実験演習を中心に据えた科目のため、周辺分野の知識を有することが求められる。 受講者は、これらの予備知識を資料などを参考に事前学習する必要がある。 資料は事前に eALPS にて公開する。 また、実験後は報告書を書き上げて完了となる。						
(9)履修上の注意	ガイダンス資料を確認すること。						
(10)質問,相談への対応	ガイダンス資料を確認すること。						
(11)その他	なし						
【教科書】	eALPSにて公開する。						
【参考書】	eALPSにて公開する。						